



滋賀県の約6分の1を占めるびわ湖。周囲の緑豊かな山々や田園風景は、私たちの暮らしにやすらぎを与えてくれます。コープしがではふれあう体験の場を通じてびわ湖や自然を大切にすることを育んでいきます。

びわこ たいせつ



びわ湖清掃ウォーク 2024

(2024/9/28)

“びわ湖を大切にすること”を育む活動の一環として、毎年9月に清掃ウォークを実施しています。第15回目となる今年も、守山市の琵琶湖大橋～第2なぎさ公園までの湖岸で「清掃ウォーク」を開催しました。合計450人の組合員・役職員が湖岸の清掃を行った後、「びわ湖O×クイズ」や地元の学校の吹奏楽部による演奏、キッズダンスを楽しみました。また、県内のゆるキャラの登場もあり、盛りだくさんの内容となりました。



参加者の声

- 子どもが学校の行き帰りでゴミ拾いすることがあって興味があるようなので、参加しました。びわ湖の清掃は初めてです。子どもと一緒にいい体験になりました。
- 地元の誇りであるびわ湖を身近に感じながら、自分たちの手で綺麗にしていくという体験ができるので、とても良い活動だと思いました。
- 子どもが少しだけ落ちていたゴミを、必死に探して袋に入れようとする姿が見れて良かった！ウォーキングも良かった！

ヨシでびわ湖を守る取り組み

(2025/2/1)

近江八幡市にある西の湖でのヨシ刈りボランティアにコープしが職員も参加しました。コープしがは、ヨシを通した環境活動に賛同し、「ヨシでびわ湖を守るネットワーク」のパートナー企業に登録して地域の環境貢献活動に参加しています。ヨシを刈り、活用することが、びわ湖の水環境や生態系を守るにつながっています。



CO₂削減の取り組み

家庭で使う照明を消してCO₂の削減や地球温暖化について考える、夏のライトダウンキャンペーンには72家族、冬のエコライフキャンペーンには44家族の組合員が参加し、エアコンの温度設定の変更、照明器具の消灯、家電製品の使用方法の見直し、水の使い方など日々のくらしの小さな積み重ねを大切にするエコライフにチャレンジしました。また、組合員から節電アイデアを募集しました。

参加者の声

- 家族で過ごしている以上、一人ひとりそれぞれが節電・節水などエコライフをしてこそ、目に見える効果が出るのだと思いました。



コープかたた店のライトダウンの様子

節電アイデア

- 車のアイドリングをなくして、エコな走りをする。(冬)
- 湯たんぽやひざ掛けを使う。(冬)
- 外で遊ぶ時間を多くして家の電気は使わない。(夏)

自然と遊ぼう & 木こり体験

(2024/11/24)

森の中での体験や交流を通じて、自然を大切にする心を育むことをめざして開催しました。当日は自然と仲良くなるプログラム「ネイチャーゲーム」や木こり体験を実施しました。



のこぎりを使った枝切りの様子

参加者の声

木と森を守ることは、びわ湖を守ることに繋がることがわかりました。

コープの森あぶらひ

森林ボランティア (2024/11/9~10)

コープの森あぶらひの森林ボランティアに職員が参加しました。電動草刈り機で刈る事のできないどんぐりの木の周りを人の手で刈る、下草刈りを中心に作業を行いました。実際に作業を行うことで、参加者全員が森を維持していく大変さを学ぶことができました。



下草刈りの様子

しがのふるさと支え合いプロジェクト

滋賀県の「しがのふるさと支え合いプロジェクト」協定を活用して、高島市マキノ町知内の自然のなかで田植え・稲刈り体験、「魚のゆりかご水田」での生きもの観察会、お米のお渡し交流会を実施しました。この取り組みにより地域の活性化や交流が生まれています。

※「しがのふるさと支え合いプロジェクト」は、多様な住民や地域活動団体との協働による持続可能な農村づくりの取り組みです。



田植え体験



「魚のゆりかご水田」での生きもの観察会



お米のお渡し交流会